

全国協議会 ニュース

2006年5月1日発行
第167号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:品川 保弘
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

いのちの輝きコンクール 最終審査終了

「いのちの輝き」をテーマに、三部門応募総数857点の心こもった作品が寄せられました。東京に桜前線がやってきた3月下旬、横山秀夫審査員長をはじめ5名の審査員の皆様をお迎えし、各部門ごとに熱意あふれる作品を手に、前半は時間を忘れてしまうほど、一点一点うなぎながらの審査が続き、上着も脱いで、汗を拭いて後半戦に入り、今までの静けさから一転、作品から感じる思いを語り合

いながら、「声に出しても一度読みましょう」「この絵に込められたメッセージは」等々、白熱した意見が飛び交い、終了時間を延長し、全員が一丸となり審査を終えました。お帰りの際の、皆様の笑顔がとても印象的でした。

4月16日に、「バイシクルライド2006イン東京」という、マイク・ア・ウィッシュのチャリティイベントがありました。これは、東京・永田町ブルデ

た幼稚園隣のビルに勤務する名川も走った。当初、大谷さんの自転車の乗り方が、危なっかしく、「ホンマに20km走れんのか?」と私はやや不安になった。ご主人様も完走の期待は薄かったようで、証拠を残すために、国立がんセンター前で撮影。さらにコース上には、築地もあり、「寿司を食べよう」ということで店に入り、大谷さんが開口一番、「小ビールでも飲む?」、「関西出身の元骨髄移植患者2名、自転車飲酒運転で

事故!」ってなったら、シャレにならんわあ!」ということ、ここは控えてもらつた。途中で、沢沢栄一について大谷さんが詳しいので、なぜそんなに知っているのかを聞いたら、「沢沢栄一と語る会というイベントがあつて参加した。私が、沢沢栄一さんはどこにいらつしやるのですか?」と担当者に聞いたら、「もう故人ですが」と、キョトンとされた。という笑話を披露してくれた。(名川)

全国協議会理事 三田村真は、健康面を含めた一身上の都合により、3月21日付で事務局長の職を辞しました。三田村氏は1994年から協議会事務局長の交代について

新事務局長挨拶
「この度全国協議会の事務局長に就任致しました。菅早苗です。地方在住のため、会員始め関係者の皆様にはご迷惑をお掛けする事もあると思いますが、精一杯努めますので皆様、優しくご指導、ご協力お願いします。」



15周年記念事業協賛金・協賛品・一般寄付 (3月20日~4月18日) 500,000円 (敬称略)

15周年記念事業協賛金・協賛品・一般寄付 (3月20日~4月18日) 500,000円 (敬称略)

全国協議会設立15周年記念事業
「いのちの輝き展」全国で開催中

4月15日(土)、山形国際ホテルで『骨髄バンクを支援するやまがたの議員の会』設立記念大会『映画『火火』上映会&記念トーク』小此木八郎氏×大谷貴子さんが開催されました。そのロビーで、「MAMOのメッセージ」を展示させていただきました。

「MAMOのメッセージ」展には余り多くの方が立ち寄って

はいただけかもしれませんが、一つ一つ熱心に読んで下さる方がおり、嬉しく感じました。『まも』は映画『火火』の神山賢一さんと同じ時期に発病し、同じ頃天国へ旅立っています。そんな意味で、この映画は私のつらい体験と重なるものが多々ありますが、多くの皆様にご理解いただく機会をこれから作って行きたいと考えています。

大谷会長をサポーターとして、大谷さんがご卒業され

た幼稚園隣のビルに勤務する名川も走った。当初、大谷さんの自転車の乗り方が、危なっかしく、「ホンマに20km走れんのか?」と私はやや不安になった。ご主人様も完走の期待は薄かったようで、証拠を残すために、国立がんセンター前で撮影。さらにコース上には、築地もあり、「寿司を食べよう」ということで店に入り、大谷さんが開口一番、「小ビールでも飲む?」、「関西出身の元骨髄移植患者2名、自転車飲酒運転で

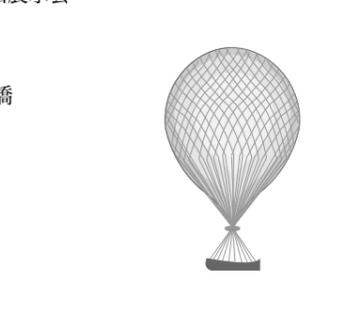
事故!」ってなったら、シャレにならんわあ!」ということ、ここは控えてもらつた。途中で、沢沢栄一について大谷さんが詳しいので、なぜそんなに知っているのかを聞いたら、「沢沢栄一と語る会というイベントがあつて参加した。私が、沢沢栄一さんはどこにいらつしやるのですか?」と担当者に聞いたら、「もう故人ですが」と、キョトンとされた。という笑話を披露してくれた。(名川)



後任の事務局長は、4月15日の第61回理事会における互選により、副理事長の菅早苗が併任することになりました。

今後とも患者救済を第一に、全国各地での草の根運動と連携して、活動を進めて参りますので、変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

今後とも患者救済を第一に、全国各地での草の根運動と連携して、活動を進めて参りますので、変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



骨髄バンクの最新情報をお知らせする
●昨年度の移植数が900例を突破、3月の月間移植数も最多の100例に
●18年度の事業計画・予算を通常理事会で原案どおり承認
●日本骨髄バンクの現状(平成18年3月末現在)

骨髄バンクNOW
●昨年度の移植数が900例を突破、3月の月間移植数も最多の100例に
●18年度の事業計画・予算を通常理事会で原案どおり承認
●日本骨髄バンクの現状(平成18年3月末現在)

	2月	3月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,277	3,212	242,858	307,597
患者登録者数	192	225	3,241	20,301
骨髄移植例数	71	100	-	7,147
20歳未満ドナー	232	205	2,637	-
51歳以上ドナー	228*	114**	2,883	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
*51歳以上ドナーの延長数 **51歳以上ドナーの新規登録数

●日本骨髄バンクの現状(平成18年3月末現在)

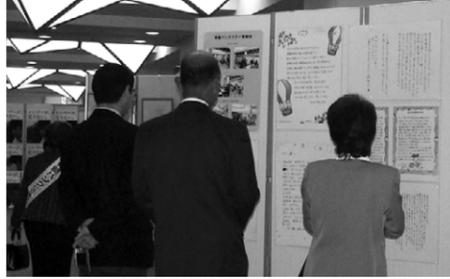
●昨年度の移植数が900例を突破、3月の月間移植数も最多の100例に

●18年度の事業計画・予算を通常理事会で原案どおり承認

各地の たより

神奈川 円覚寺のコンサートが 結ぶ縁

神奈川骨髄移植を考へる会にとつて、毎年桜の季節に開催する円覚寺チャリティコンサート



曲の合間の愉快なトーク

各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

トは特別の意味を持ちます。4月15日(土)、天気にも恵まれた15回目のこの日は300名近い方が来場してくださいました

が、あちこちで再会を喜び合ひ手を握り合うシーンが見られました。厳かな方で聴くクラシック音楽の楽しさばかりでなく、胸を熱くする人のつながりがこのコンサートにはあります。演奏者のサンクトフローリアンの皆様も、終了後の親睦会も含め、楽しみにしてください。送るようです。出口に並んでお見送りするボランティアに暖かい笑顔で応えてくださった来場者の皆様、コンサートを支えてくださる多くの皆様、ありがとうございました。(阿部)

福岡 平日3か所 同時の登録会

福岡で3月23日に、飯塚ミスターマックス、額田町役場、川崎町役場の3か所で同時に献血並行登録会が行われました。

土日なら説明員は揃うのですが、平日は、2か所からの依頼でも説明員の要請に慌てるのに、3か所の会場から依頼があった時は、説明員が揃うか心配でした。どの会場もお断りしたくなかったので、数名の説明員に都合を付けてもらい、日赤の職員さんにも手伝ってもらって、無事に開催する事が出来ました。当日は天気もよく、3か所合わせて30名の方が骨髄バンクに登録して下さいました。(中川)



4月15日、全国初となる地方議会議員による骨髄バンクを支援する『骨髄バンクを支援するやまがたの議員の会』(会長・山形県議会議員44名全議員と82名の市町村議会議員で構成)の設立記念大会を開催いたしました

大会は、衆議院議員加藤紘一様ご臨席のもと、映画「火火」の上映、そして、大谷貴子会長と国会の骨髄バンク議員連盟幹事長の小此木八郎衆議院議員の記念トークを行いました。大谷会長からは、『この会の試みを全国に発信してほしい。そして、各地に同じような会が立ち上がれば、地道な努力が実を結ぶのでは。』との心強いメッセージをいただき、会員議員それぞれが大谷会長の「元氣」のおすそ分けをいただきました。(骨髄バンクを支援するやまがたの議員の会 事務局次長佐藤丈晴)



念トークを行いました。

「ドナーになるってどんなこと？」ができました。

これは私たち全国協議会が構想を温めてきたドナー向け小冊子です。



情報誌「骨髄バンク」第9号に 広告協賛をお願いします

全国協議会ではオピニオン情報誌「骨髄バンク」を不定期に発行しております。しかし、第8号を発行してからすでに1年10カ月が経過してしまいました。そこで、15周年記念事業が一区切りを迎える9月上旬の発行を目標に、第9号の編集準備に入りました。

昨今の厳しい財政状況の折、寄付金のみで頼るのではなく、積極的に広告協賛企業を勧誘することといたしました。是非ともご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

1. 広告掲載誌：情報誌「骨髄バンク」第9号
2. 発行時期：2006年9月を予定
3. サイズおよび広告料：

天地6cm・左右8cm	5,000円(名刺大)
天地12cm・左右8cm	10,000円(1/4頁)
天地12cm・左右16cm	20,000円(1/2頁)
天地24cm・左右16cm	40,000円(1頁)

前号の訂正とお詫び

前号の寄附欄に掲載致しました御芳名に間違いがありました。左記のとおり訂正し、お詫びしあげます。

- 武庫川侍史女子大学附属高等学校・中学校
- 武庫川女子大学附属高等学校
- 東京立川こぶしライオンズクラブ
- 東京立川こぶしロータリークラブ

心からのご寄付に 感謝申し上げます

3月20日～4月18日

㈱タクトコーポレーション	現金	30,000円
㈱サクラホーム	現金	5,000円
岩瀬日本大学高等学校生徒会	現金	37,585円
日新火災海上保険株式会社	切手	29,930円
経営企画部広報グループ		
TDK株式会社成田工場・市川テクニカルセンター	現金	100,000円
飯島孝枝	現金	1,000円
吉本哲也	現金	1,000円
塩谷圭	現金	1,000円
徳田ひろみ	現金	1,620円
齋藤陽子	現金	3,000円
野村正満	現金	32,000円
中村新吉	現金	32,000円
匿名	現金	12,202円
村上晴美	現金	100円
宮川靖子	現金	1,790円
粕谷豊子	現金	5,000円
鈴木純子	現金	1,340円
菅 早苗	現金	2,000円
斎藤江美子	現金	2,000円

●佐藤さち子患者支援基金		
ビーズサイト「Beads Stand」	現金	3,000円
牧野礼男	現金	4,500円

●白血病患者支援基金・募金箱		
さくら薬局白金台店	現金	3,500円
アリスいわた薬局	現金	4,348円
株式会社カンセキ	現金	7,136円
渡辺材木店	現金	3,611円

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

最新医療情報 その③

白血病の健康食品 (2)

医薬品とは不特定多数の人に効果があり、疫学、基礎医学的に根拠を確認したものです。そして、副作用(悪影響)は当然ありますが、集団として有効性が上回っていると判断されているものです。要するに医薬品と認められていても、効く人もいれば、悪影響のある人もいます。

健康食品も、効く人には効くのは間違いありません。しかし、悪影響のある人も必ずあります。そして、効果、悪影響の頻度、程度は確認されていないので、責任持ては勧められません。「勝手に宝くじを買って下さい。当たればいいですね。」という感じになっています。

厚生労働省研究班が2002年度に患者約3,000人に実施した全国調査では、4割強が健康食品を使用していました。中でも、アガリクスが61%と最も多く、次はプロポリスの29%でした。医師から「もう治療法がない」「治らない」と言われ、「最後の希望」とする患者も少なくありません。患者は健康食品などの民間療法に月平均5万7,000円使っていました。

末期患者の薬をもすがる気持ちは強く、健康食品は1兆円産業になっています。そして同時に、虚偽・誇大広告は後を絶たず、商品による健康被害も増えてきています。

本当は、健康食品の効果、危険性を患者と担当医の間で話し合える間柄になるのがいいと考えますがなかなか難しいかもしれません。また、医療現場の思考にはオーダーメイド医療という考えは少なく、「いい治療は万人共通である」という固定観念がある医師も多く、壁は厚いかも知れません。

しかし、悪い健康食品には注意しなければいけないので下記ポイントはしっかりとチェックしましょう。

(怪しい健康食品を見極めるポイント)

- 「即効性」「万能」・・・過度の期待を思わせる書き方は、まず疑う。
- 「がんが治った」などの治療効果を表記・・・健康食品は医薬品ではない。もし治ったとしてもすべての人に同じように効くとは限らない。
- 「驚くべき体験談」「医師など専門家のお墨付き」・・・医師の治療や生活改善など他の原因によって良かった可能性があり、はっきりしない。
- 「厚生労働省認可、承認済」・・・「特定保健用食品」を除き、厚生労働省が事前の認可、確認を行う健康食品はない。
- 「〇〇に効くと言われてます」・・・伝聞調に書いてあり、病気が治ると誤解しやすい。特許番号〇〇番・・・特許と効果は関係ない

ごんにちは募金箱

その22

回転すし すし兵衛 (新潟県新潟市)

障害者、車椅子、デイサービスの方々が入れるお店を思いました。

私の母が病死してから、自分なりに少しでも人のためになることはできないかと思ひ7年前に、「にいがた骨髄バンクを育てる会」を知りました。私にでもできると思ひ、店内に写真やパンフレット、募金箱を置いてあります。

パンフレットは、お持ち帰り用のおすしに、1枚ずつ入れてあります。

私のことを見ていたせいか、子どもが昨年ドナーになりました。心配もありましたが、一番喜んでるのは本人でしたので心から応援しました。これからも小さなことでも私



の出来ることをしていきたいと思っています。(細野)

私どもの息子が、三年前に突然急性白血病と診断されたときから骨髄バンクとの関わりが始まりました。この突然の告知に子ども家族は「何で、どうして」と途方に迷っていました。家族、親族、友人皆さんに協力していただきHLA検査をお願いしましたが、適合するHLA型ではありませんでした。そんな時骨髄バンクを知り、ドナーを見つけていただくことができました。そして移植を受け、今日があります。あの日々の有難さは、なんと表してよいか分からないほどでした。登録していただける方が一人でも増え、私どものような家族が増えるよう、微力ではありますが、携わってゆきたいと思ひます。

